

編集方針

本レポートは、当社グループにとって3冊目の統合レポートとなります。2021年度に発行した1冊目は、「国際統合フレームワーク」と「価値協創ガイダンス」に則り、基本的に忠実に、統合レポートとしての必要項目を分かりやすくまとめることに注力しました。2022年度は、伝えたいメッセージを明確化し、冊子を通じて表現することに努めました。ところが、レポートをお読みになられた機関投資家やアナリストの皆さまに意見を伺ったところ、そのメッセージは伝わってこなかったとお言葉をいただきました。そこで、3冊目となった今年、前回お伝えできなかったメッセージを伝えることに再度チャレンジいたします。

ステークホルダーの皆さまから寄せられる「キャッシュレス化の進展にグローリーはどのように対応していくのか？」の問いに象徴される、通貨処理機ビジネスを中心としてきた当社グループに向けられる市場の閉塞感「ガラスの壁」をどう突き破るのか。この答えが、私たちがお伝えしたかったメッセージです。そのため、今回は特に次のポイントにこだわり制作いたしました。

1つ目に、価値の源泉を過去から未来にわたって理解していただきやすいようにしたことです。「価値提供の変遷と長期ビジョンで目指す姿」を一体化させ、技術や製品・サービスの進化だけにとどまらず、それらを活かして今後どのような価値を提供していくのかまでを1ページにまとめました。また、新しい価値提供の具体例について、特集3テーマをご紹介します。

2つ目に、「キャッシュレス化の進展にグローリーはどのように対応していくのか？」の問いに応えるトップメッセージと、当社グループが目指す姿である「長期ビジョン2028」の実現に向けて何をすべきかを語った代表取締役社長と社外取締役との座談会です。社長本人の言葉や社外取締役のご発言により、実現に向けた熱量を感じていただけたと思います。

3つ目に、社内の活気をお届けできるよう、従業員のコメントや写真を充実させました。当社グループの事業を推し進めていくのは、従業員一人ひとりにほかならず、「人材戦略」インタビューで語られているビジネスパーソンの像を体現する従業員を、関係するページに掲載しました。

最後に、忌憚ないご意見をくださった機関投資家・アナリストをはじめとするステークホルダーの皆さまに心より感謝を申し上げます。3冊目の本レポートによって、ステークホルダーの皆さまと当社グループの将来成長に向けた対話をさらに深めることができると確信しています。お客さま、ビジネスパートナー、株主さま、従業員、地域社会の皆さまには、本レポートにつきましても、率直なご意見を賜りましたら幸甚に存じます。

統合レポート2023 制作チーム



CONTENTS

価値の源泉	3	編集方針／目次
	4	グローリーグループ企業理念
	5	価値提供の変遷と長期ビジョンで目指す姿
	6	価値創造プロセス
	7	グローリーの4つの強み
	8	技術基盤
	11	グローリーの事業
目指す姿	14	TOP MESSAGE
	19	社長×社外取締役座談会
	22	メガトレンドとリスク・機会分析
特集 新しい価値の創造	23	一コア事業— 海外 セルフソリューションの拡大
	24	一新領域事業— 国内 Food business DX
	25	一新領域事業— 海外 金融シェアードサービス
新価値創造に 向けた戦略	26	長期ビジョンと過去中期経営計画
	28	2023中期経営計画
	30	海外事業
	35	国内事業
	39	機能別戦略
	41	人材戦略
	43	財務資本戦略
	47	主要財務・非財務ハイライト
持続的な 成長に向けて	51	気候変動への対応
	54	人権
	55	人材
	57	サプライチェーン・マネジメント
	59	顧客満足
コーポレート・ ガバナンス	61	コーポレート・ガバナンス
	67	コンプライアンス
	68	リスクマネジメント
	71	監査等委員メッセージ
	72	役員一覧
データ セクション	76	財政状態及び経営成績の分析
	80	連結財務諸表等
	83	国内・海外ネットワーク
	84	第三者意見
		真正性表明／ご意見を踏まえた今後の改善に向けて
	85	会社概要・投資家情報

統合レポートの位置づけ

中長期の価値創出に関わる
マテリアルな情報の掲載



見通しに関する特記事項

本レポートに掲載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは本レポート作成時点の当社の判断に基づくものであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。今後、さまざまな要因の変化によって、記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おください。

〈報告対象期間〉2022年4月1日～2023年3月31日（一部に2023年4月以降の活動内容等を含む。）

〈報告対象組織〉グローリー株式会社及びその国内外の連結子会社

表紙のご説明

表紙のモチーフである大理石は、古代より歴史的建造物などに使用され、繁栄の象徴とされてきた天然石です。なかでも天然の色として滅多に現れない青い大理石はとても貴重で、果てしなく広がる空を連想させます。当社のこれまで積み上げてきた歴史と、「人と社会の『新たな信頼』を創造するリーディングカンパニーへ」というビジョンにふさわしい、信頼と未来への期待の象徴として表紙を表現しました。

